

令和4年度病害虫発生予察指導情報

台風の通過により注意が必要な病害虫

令和4年9月8日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

9月6日の台風11号に伴う強風、降雨等により、農作物への病害の発生が懸念されるため、以下のとおり適切な防除対策を講じる。

2 気象情報

9月1日発表の気象1か月予報によると、9月は平年に比べ晴れの日が少なく、気温が高いことが予想されている。

3 発生に注意が必要な病害等と対策

(1) ダイズ腐敗粒

本症状は、莢についた傷から菌が侵入することによって発生する。台風等による強風は莢の傷の原因となる。今後は、本症状の発生に助長的な気象条件となることが予想されている。このため、ベルコートフロアブル等による薬剤防除を行う。

(2) カキ炭疽病

8月26日付け病害虫発生予察指導情報参照を参照のこと。

(3) ネギ軟腐病

本病は高温多湿条件下で発生が助長される。強風による傷からの本病感染対策として、病害虫防除指針を参考に薬剤防除を徹底する。

(4) ブロッコリー細菌性病害（黒腐病・黒斑細菌病・軟腐病）

本病は高温期の作型での発病が多い。強風による傷からの本病感染対策として、病害虫防除指針を参考に降雨後の薬剤防除を徹底する。

(5) ブロッコリー黒すす病

本病は、多湿条件下で発病が助長され、台風などの降雨及び強風などにより発病が助長される。ほ場のブロッコリー下位葉において発病がないか観察し、発病がみられた場合は直ちに薬剤防除を行う（薬剤は病害虫防除指針を参照）。また、今後連続した降雨がみられる場合は、降雨前もしくは降雨後に追加散布を行うことが望ましい。